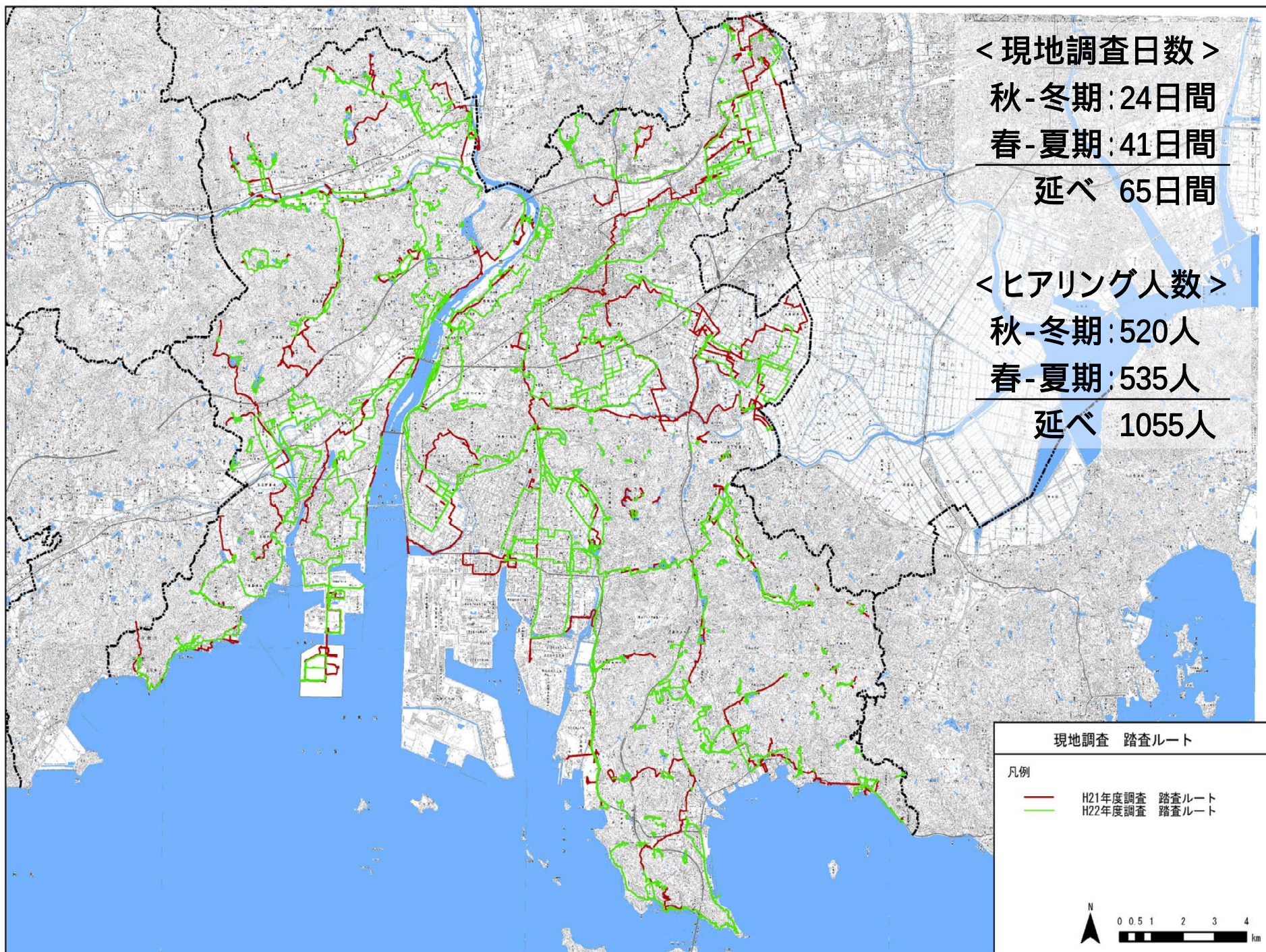


■ 調查結果



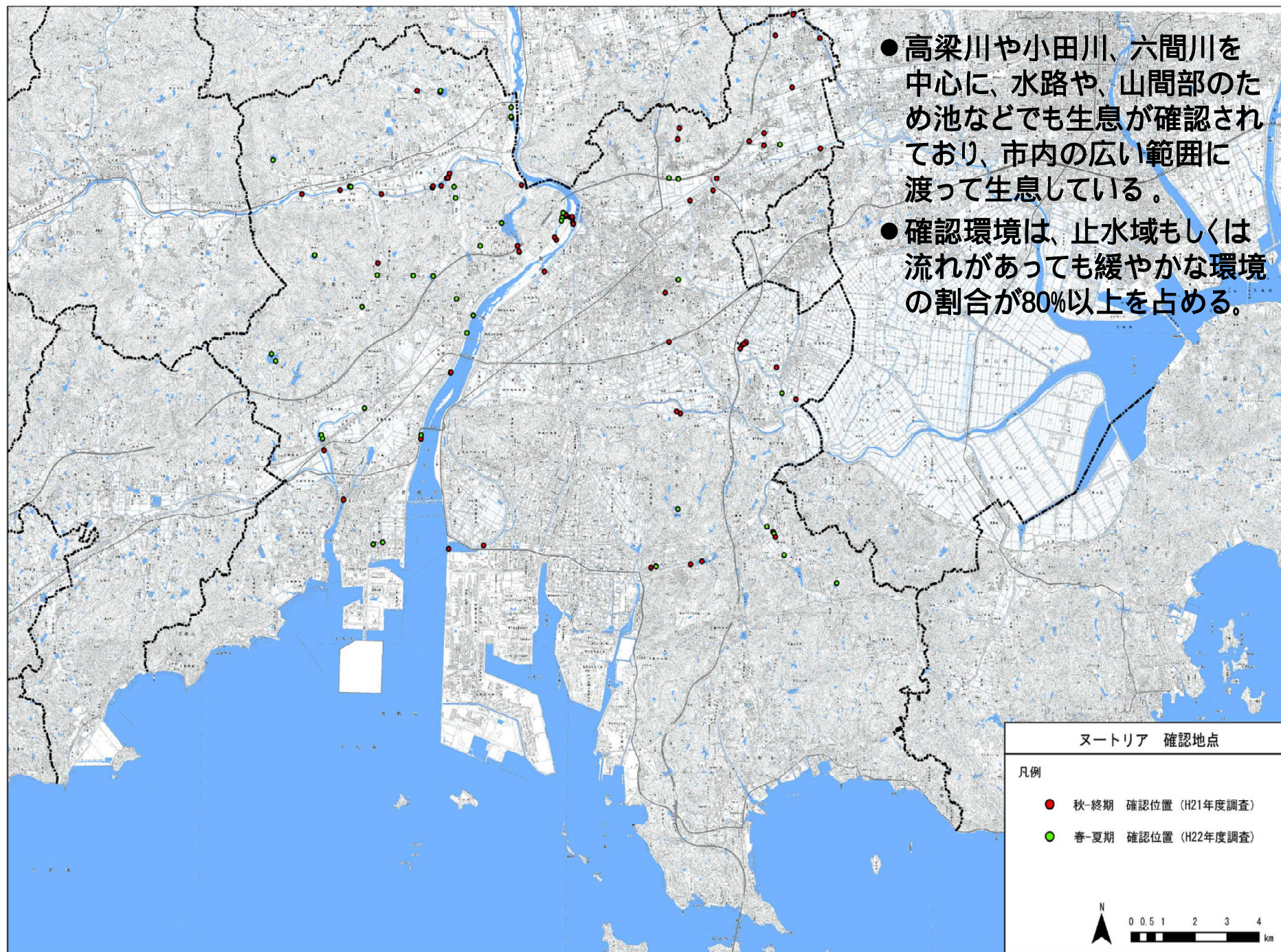
分類		種名	踏査	ヒアリング
特定外来生物 20種	哺乳類	ヌートリア	●	●
		アライグマ	●	●
	鳥類	ソウシチョウ		●
	爬虫類	カミツキガメ		●
	両生類	ウシガエル	●	●
	魚類	オオクチバス	●	●
		ブルーギル	●	●
		カダヤシ	●	●
	昆虫類	アルゼンチンアリ		
	クモ・サソリ類	セアカゴケグモ		●
		ハイロゴケグモ		●
	植物	オオキンケイギク	●	●
		オオハンゴンソウ		●
		ナルトサワギク	●	●
		オオカワジシャ		●
		ブラジルチドメグサ	●	●
		アレチウリ	●	●
		オオフサモ	●	●
		ボタンウキクサ		●
		アゾラ	●	●

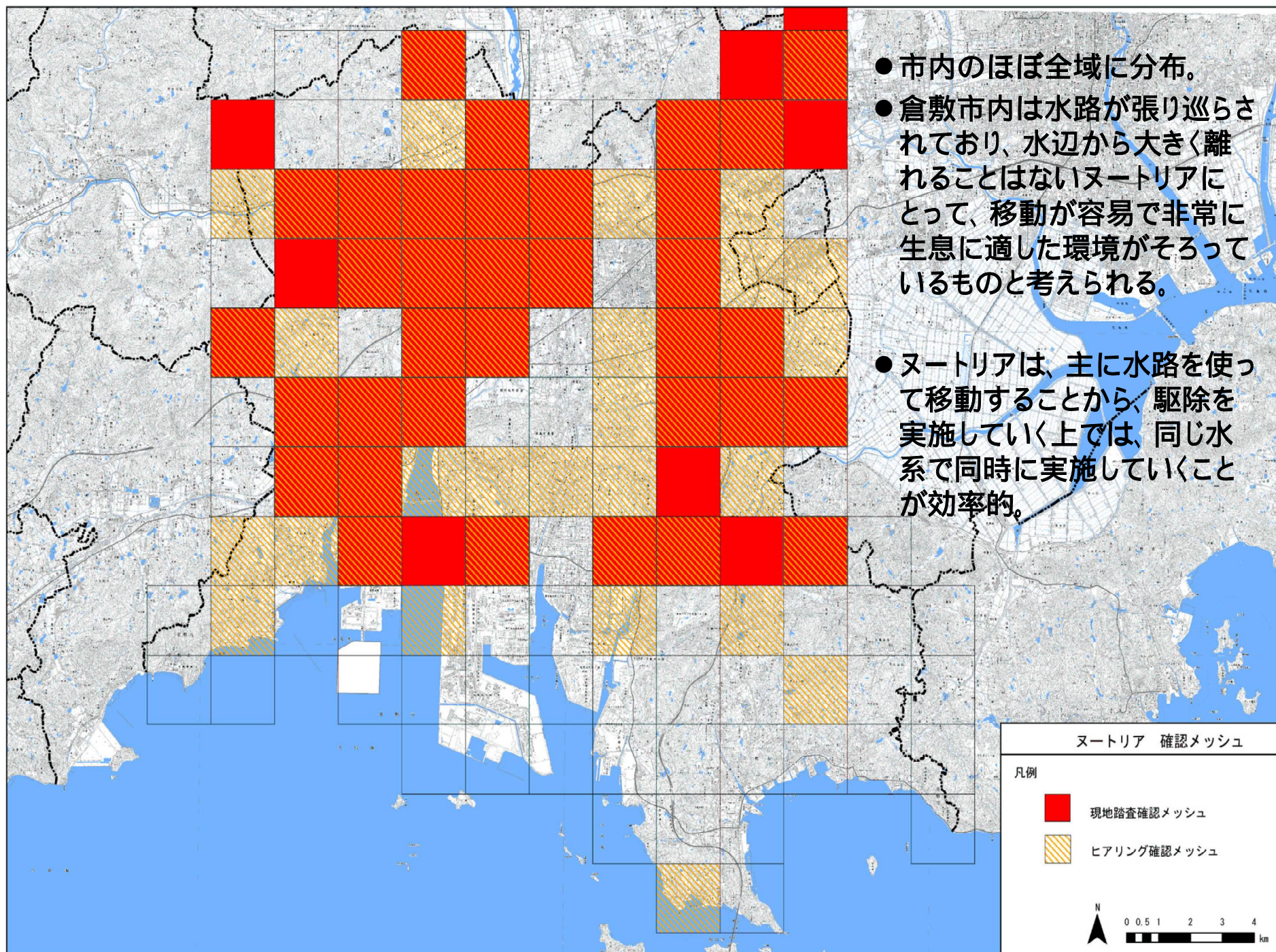
分類		種名	踏査	ヒアリング
要注意外来生物	爬虫類	アカミミガメ	●	●
	無脊椎動物	アメリカザリガニ	●	●
		スクミリンゴガイ	●	●
		タイワンシジミ種群	●	●
	植物	ホテイアオイ	●	●
その他留意種	哺乳類	ハクビシン		●
		チョウセンイタチ	●	●
	無脊椎動物	サカマキガイ	●	●

チョウセンイタチと在来種のイタチとの識別は、野外では難しいことから、イタチは全てチョウセンイタチとして扱った。

<ヌートリア>

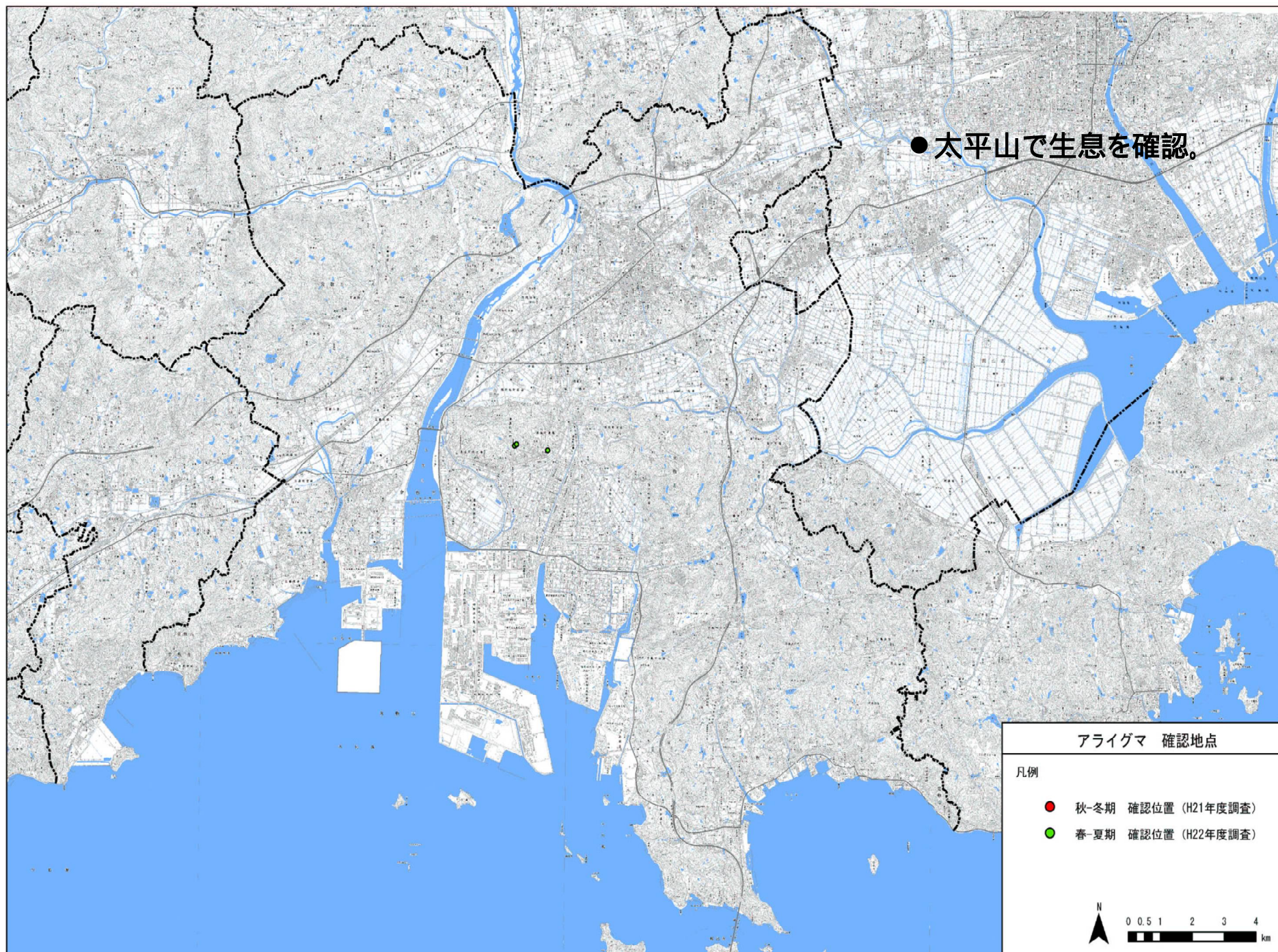
- 草食性で、稲やニンジン、白菜など農作物への被害が大きい。
- ため池では、水生植物群落を壊滅させ、絶滅危惧種のトンボが激減したなどの事例がある。





< アライグマ >

- 雑食のため希少種を含む在来生物群集に影響が懸念されている。
- 農作物、養殖魚への食害などの被害も深刻である。
- 建物の屋根裏などに住み着くため、建造物に傷を付けたり、糞害などが問題となっている。



● 総社市との市境の山地でも
生息情報を得た。

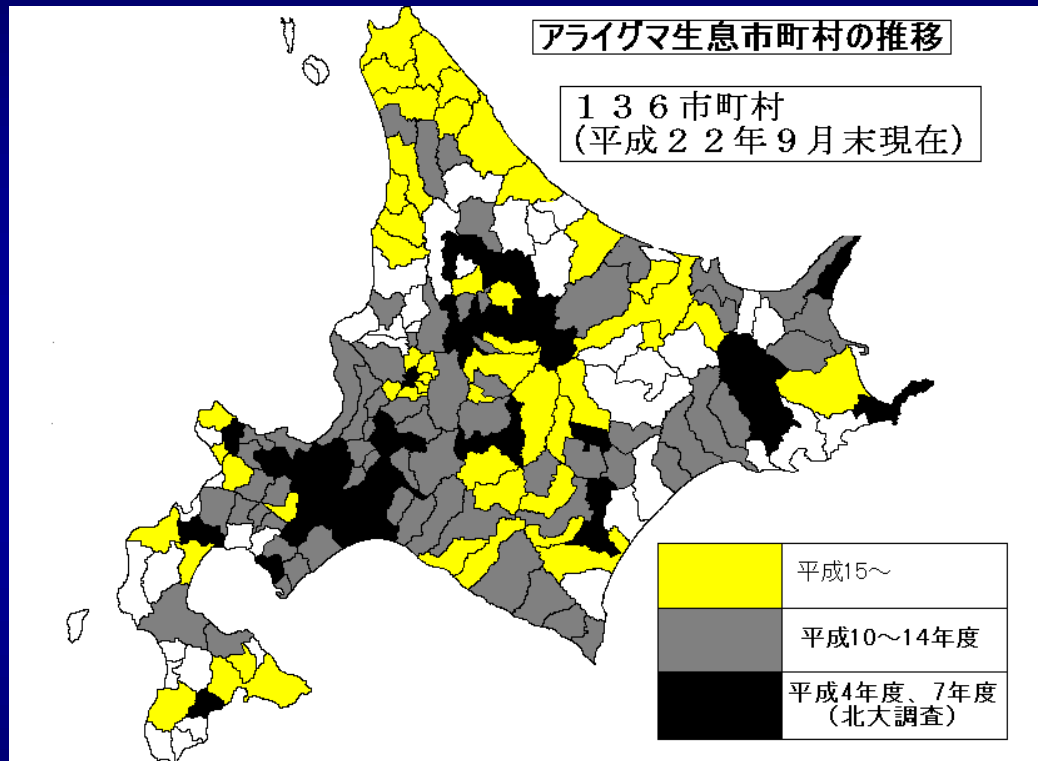
アライグマ 確認メッシュ

凡例

- 現地踏査確認メッシュ
- ヒアリング確認メッシュ



北海道におけるアライグマの分布拡大の様子



分布拡大の様子が比較的把握されている北海道の例では、初期の分布状況は道内各地に分散しており、発生源は一つではなく、各地で逃亡・遺棄による野生化が多発していると考えられる。

北海道環境局自然環境課HPより引用

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/alien/araiguma/araiguma_top

岡山県周辺では・・・

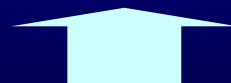
- ・ 既に隣接する兵庫県や鳥取県では、被害が増加し、県や各市町村が防除実施計画を策定し、駆除を実施している。

岡山県では・・・

- ・ 既に岡山市などでも、アライグマの生息が確認されている。
- ・ 倉敷市内でも、飼育個体が野生化したと思われる個体を確認。



今後、隣接する地域からの流入個体や飼育遺棄個体が分布を拡大し、県内全域で侵入・定着する可能性は高い。



早期の段階での対策が効果的。

< ウシガエル >

- 何でも食べ、昆虫、甲殻類、魚類などに影響を及ぼすおそれがある。
- カエル類も捕食しており、在来のカエルにも影響を及ぼすおそれがある。

- 市内全域に分布。
- 山間部のため池にも生息。
- 主にため池に生息するが、流れが緩やかであれば、水路などでも見られる。

ウシガエル 確認地点

凡例

- 秋-冬期 確認位置 (H21年度調査)
- 春-夏期 確認位置 (H22年度調査)



- 市内の全域に完全に定着しており、個体数も非常に多いものと考えられる。

